

課目名	美容実習 1年				必修・選択必修・自由選択	必修
		1学期	2学期	3学期	授業時間数	662時間
授業実施時期	1年	○	○	○	授業単位	22単位
	2年	—	—	—	法律により決められた時間・単位	900時間(30)
担当教員名	山口千佳子 飯田佐奈江 小屋松寛暁 野村みさ江				授業方法	実習
担当資格	実務経験・日本理容美容教育センター美容理論・実習研修修了者					
到達目標	美容技術の修得、美容師実技試験課題の修得					
授業科目概要	1.スカルプトリートメント 2.シャンプー 3.ワインディング 4.ネイル 5.エステ 6.メイク 7.ワインディングコンテスト 8.アイラッシュ 9.編み込み 10.着付け 11.学校祭練習 12.夜会巻き 13.カット&ブロー 14.セムレイヤーカット 15.カラーリング 16.日本髪 17.フィンガーウェーブ 18.フリースタイル 19.オールウェーブ構成 20.ワインディングコンテスト					
成績評価方法 実技試験		1学期	2学期	3学期	合格基準	
	1年	科目の最後に複数教員により採点			100点満点だが60点以上で単位を修得する。未完成また、60点以下の場合は追試試験を行う。	
	2年					
時間	授業内容					
1～3	スカルプトリートメント(ブラッシング・マッサージ)					
4～19	シャンプー(サイドシャンプー) 最後に試験 5日間					
20～22	ワインディング ブロッキング 試験はなし 1日間					
23～49	ワインディング(オールパーパス)基本巻き 試験はなし 8日間					
50～165	ネイル(ネイルケア、カラーリング) 最後に試験 5日間					
166～178	エステ(フェイシャルマッサージ)試験はなし 4日間					
179～203	メイク(相モデルによるノーマルメイク)最後に試験 8日間					
204～243	ワインディング 30分 最後に試験 校内コンテスト 13日間					
244～259	アイラッシュ(まつ毛エクステンション)試験はなし 5日間					
260～266	編み込み・まとめ髪 試験はなし 2日間					
267～285	学校祭準備(ヘアショー準備) 6日間 夏休み前					
286～301	ワインディング 5日間 試験はなし					
302～326	着付け(女子は浴衣と振袖着付・男子は浴衣と羽織袴着付)最後に試験 8日間					
327～339	夜会巻き(アップスタイル) 4日間 試験はなし					
340～409	学校祭(ヘアショー) 16日間					
410～434	ワンレングスカット&ブロー 8日間 最後にワンレングスコンテスト					
435～447	各種カット(セムレイヤー、レザーカットなど) 4日間					
448～457	カラーリング(ブリーチ、ヘアマニキュア、カラーリング) 3日間 試験はなし					
458～479	日本髪(アップスタイル) 7日間 最後にコンテスト					
480～507	フィンガーウェーブ 9日間					
508～535	フリースタイル(ウィグによるフリースタイル) 4日間 最後にコンテスト					
536～573	ワインディング (授業の間に)11日間 最後に試験					
574～596	オールウェーブ構成(美容師実技試験課題) 15日 最後に試験&コンテスト					
597～616	リアシャンプー(バックシャンプー練習) 5日間 試験はなし					
617～623	パーマ 2日間					
624～662	ワインディング 17日間 試験&コンテスト					

実務経験のある教員による授業科目の授業計画書(シラバス)

課目名	選択美容師国家試験対策授業				必修・選択必修・自由選択	選択必修
授業実施時期		1学期	2学期	3学期	授業時間数	180時間
	1年	—	—	—	授業単位	6単位
	2年	—	○	○	法律により決められた時間・単位	
担当教員名	渡邊 智之 古関恵子 向井光子 岡崎芳江				授業方法	実習 勉強
担当資格	実務経験・日本理容美容教育センター美容理論・実習研修修了者					
到達目標	美容師試験の合格					
授業科目概要	1.美容師実技試験第1課題(ヘアカット) 2.美容師実技試験第2課題(オールウェーブ・ワインディング) 3.衛生上の取り扱い試験 4.美容師学科試験問題集での勉強					
成績評価方法 筆記試験		1学期	2学期	3学期	合格基準	
	1年				100点満点だが60点以上で単位を修得する。60点以下の場合は追試試験を行う。	
	2年			卒業試験		
時間	授業内容					
1～18	美容師実技試験第1課題 練習					
19～36	美容師実技試験第2課題 練習					
37～92	美容師実技試験第1課題・第2課題 練習					
93～104	卒業実技試験					
	美容師実技試験					
105～168	美容師筆記試験 勉強					
169～180	卒業学科試験					
	美容師学科試験					

実務経験のある教員による授業科目の授業計画書(シラバス)

課目名	美容技術理論1(1年)				必修・選択必修・自由選択	必修
授業実施時期		1学期	2学期	3学期	授業時間数	62時間
	1年	○	○	○	授業単位	2単位
	2年	—	—	—	法律により決められた時間・単位	150時間(5)
担当教員名	山口千佳子 飯田佐奈江 小屋松實暁 野村みさ江				授業方法	講義
担当資格	実務経験・日本美容教育センター美容理論・実習研修修了者					
到達目標	美容技術の理論的な理解 美容師学科試験の合格					
授業科目概要	1.美容用具 2.シャンプーング 3.ヘアデザイン 4.ヘアカッティング 5.パーマントウェーブ 6ヘアセッティング 7ヘアカラーリング					
成績評価方法 筆記試験		1学期	2学期	3学期	合格基準	
	1年	中間・期末試験	中間・期末試験	学年末試験	100点満点だが60点以上で単位を修得する。60点以下の場合は追試試験を行う。	
	2年					
時間	授業内容					
1,2	美容技術理論を学ぶにあたって 美容技術における用具					
3,4	コーム ブラシ シザーズ					
5,6	レザー ピン類、ヘアクリップ					
7,6	ロッド ローラー ヘアアイロン					
8,9	ヘアスチーマ 遠赤外線機					
10,11	シャンプーング総論 サイドシャンプー					
12,13	バックシャンプー リンス・コンディショナー・トリートメント					
14,15	スカルプトリートメント ヘッドスパ					
16,17	3.ヘアデザイン 美容とデザイン					
18,19	4.ヘアカッティングとは					
20,21	シザーズとレザーの扱い方					
22,23	美容刃物					
24,25	ヘアカッティングの正しい姿勢					
26,27,28	ブロッキング ヘアカッティングの基礎理論					
29,3,0	ベーシックなカット技法					
31,32	シザーズによりカット技法					
33,34	レザーによるカット技法					
35,36,37	5.パーマントウェーブ歴史と現在 パーマの理論					
38,39	パーマ剤の分類					
40,41,42	パーマ剤に関する注意事項 パーマントウェーブ技術					
43,44	ワインディングのバリエーション 縮毛矯正					
45,46	6ヘアセッティングとは ヘアパーティング ヘアシェーピング					
47,48	ヘアカーリング ヘアウェービング ローラーカーリング					
49,50	ブロードライ アイロンセッティング バックコーミング					
51,52,53	アップスタイル ウィッグとヘアピース 7ヘアカラーリング概論					
54,55,56	ヘアカラーの種類 ヘアカラーのタイプ別特徴 染毛のメカニズム					
57,58	色の基本 毛髪のレベルとアンダートーン パッチテスト					
59,60	専門剤使用時の注意事項 ヘアカラーリングの道具 酸化染毛剤					
61,62	酸性染毛料の技術手順 ヘアブリーチ					

実務経験のある教員による授業科目の授業計画書(シラバス)

課目名	美容技術理論2(2年)				必修・選択必修・自由選択	必修
授業実施時期		1学期	2学期	3学期	授業時間数	94時間
	1年	—	—	—	授業単位	3単位
	2年	○	○	○	法律により決められた時間・単位	150時間(5)
担当教員名	渡邊 智之 古関恵子 向井光子 岡崎芳江				授業方法	講義
担当資格	実務経験・日本理容美容教育センター美容理論・実習研修修了者					
到達目標	美容技術の理論的な理解 美容師学科試験の合格					
授業科目概要	8.エステティック 9.ネイル技術 10.メイクアップ 11.日本髪 12.着付けの理論と技術					
成績評価方法 筆記試験		1学期	2学期	3学期	合格基準	
	1年	—	—	—	100点満点だが60点以上で単位を修得する。60点以下の場合は追試試験を行う。	
	2年	中間・期末試験	中間・期末試験	卒業試験		
時間	授業内容					
1～3	エステティック概論 皮膚の整理と構造					
4～6	カウンセリング 美容におけるマッサージ理論					
7～9	フェイシャルケア技術 フェイシャル及びデコルテマッサージ					
10～12	フェイシャルパック ボディケア技術 ボディケアマッサージ					
13～16	ネイル技術概論 ネイル技術の種類					
17～20	爪の構造と機能 爪のカット形状					
21～23	ネイル技術と公衆衛生					
24～26	カウンセリング ネイルケア					
27～29	アーティフィシャルネイル 手と足のマッサージ					
30～33	メイクアップ概論 顔の形態学的な観察					
34～37	メイクアップと色彩 皮膚の生理と構造					
38～40	メイクアップの道具 スキンケア					
41～43	ベースメイクアップ アイメイクアップ					
44～46	アイブロウメイクアップ リップメイクアップ ブラッシュオンメイクアップ					
47～50	まつ毛エクステンション					
51～52	日本髪の由来 日本髪の各部の名称					
53～54	日本髪の種類と特徴 日本髪の調和					
55～56	日本髪の装飾品 日本髪の結髪道具					
57～58	日本髪の結髪技術 日本髪の手入れ かつら					
59～61	着付けの目的 礼装					
62～64	着物と季節 着物のいろいろ					
65～67	帯 小物 着物各部の名称					
68～70	着物のたたみ方 着付けの一般的要領					
71～73	留袖着付け技術 振袖着付け技術					
74～75	帯締め、帯揚げの結び方 男子礼装羽織、袴着付け技術					
76～78	羽織のひもの結び方 女子袴着付けの際の注意事項					
79～80	婚礼着付けの際の注意事項 和装花嫁 洋装花嫁					
81～92	総復習					

実務経験のある教員による授業科目の授業計画書(シラバス)

課目名	衛生管理(1年)				必修・選択必修・自由選択	必修
		1学期	2学期	3学期	授業時間数	33時間
授業実施時期	1年	○	○	○	授業単位	1単位
	2年				法律により決められた時間・単位	90時間(3)
担当教員名	岡崎芳江				授業方法	講義
担当資格	実務経験6年、衛生管理研修終了					
到達目標	美容師学科試験の合格					
授業科目概要	1公衆衛生概要 2感染症 3環境衛生 4衛生管理技術					
成績評価方法 筆記試験		1学期	2学期	3学期	合格基準	
	1年	中間・期末試験	中間・期末試験	学年末試験	100点満点だが60点以上で単位を修得する。60点以下の場合は追試験を行う。	
	2年					
時間	授業内容					
1～3	公衆衛生の意義と課題、発展と歴史					
4～8	美容師と公衆衛生、保健所と美容業					
9～12	母子、成人・高齢者、精神保健					
13～15	環境衛生の概要					
16～20	空気環境、衣服・住居の衛生					
21～25	上・下水道と廃棄物、衛生害虫とネズミ					
26～33	環境保全					

実務経験のある教員による授業科目の授業計画書(シラバス)

課目名	文化論				必修・選択必修・自由選択	必修
		1学期	2学期	3学期	学則の授業時間数	63時間
授業実施時期	1年	○	○	○	授業単位	2単位
	2年	○	○	○	法律により決められた時間・単位	60時間(2)
担当教員名	小山 智子				授業方法	講義
担当資格	実務経験・日本理容美容教育センター文化論研修修了者					
到達目標	美容師学科試験の合格					
授業科目概要	1.総論 2.日本の理容業・美容業の歴史 3.ファッション文化史 日本編 4.ファッション文化史 西洋編 5.礼装の種類					
成績評価方法 筆記試験		1学期	2学期	3学期	合格基準	
	1年	中間・期末試験	中間・期末試験	学年末試験	100点満点だが60点以上で単位を修得する。60点以下の場合は追試験を行う。	
	2年	中間・期末試験	中間・期末試験	卒業試験		
時間	授業内容					
1,2	総論					
3,4	ファッション文化史 西洋編 古代エジプト、古代ギリシャ・ローマ					
5,6	古代ゲルマン、中世ヨーロッパ					
7,6	近世Ⅰ(16世紀、17世紀)					
8,9	近世Ⅱ(18世紀～19世紀初め)					
10,11	近代Ⅰ(19世紀)、現代Ⅰ(1910年代～1920年代)					
12,13	現代Ⅱ(1930年代～1940年代前半)					
14,15	現代Ⅲ(1940年代～1950年代)					
16,17	現代Ⅳ(1960年代～1970年代)					
18,19	現代Ⅴ(1980年代～1990年代)					
20,21	現代Ⅵ(2000年代～)					
22,23	和装・洋装の礼装					
24～32	総復習					

実務経験のある教員による授業科目の授業計画書(シラバス)

課目名	運営管理				必修・選択必修・自由選択	必修
授業実施時期		1学期	2学期	3学期	授業時間数	36時間
	1年	○	—	—	授業単位	1単位
	2年	—	○	○	法律により決められた時間・単位	30時間(1)
担当教員名	市東幹夫 小山 智子				授業方法	講義
担当資格	実務経験・日本理容美容教育センター運営管理研修修了者					
到達目標	美容師学科試験の合格					
授業科目概要	1.経営とは・経営者とは 2.理容業・美容業の経営について 3.資金の管理 4.人という資源 5.健康・安全な職場環境の実現 6.従業員としての視点から 7.サービス・デザイン 8.マーケティング 9.サービスにおける人の役割					
成績評価方法 筆記試験		1学期	2学期	3学期	合格基準	
	1年	中間・期末試験			100点満点だが60点以上で単位を修得する。60点以下の場合は追試験を行う。	
	2年		中間・期末試験	卒業試験		
時間	授業内容					
1	1.経営とは・経営者とは 経営が必要とされる理由					
2	経営が難しい理由 経営とは何か					
3	経営資源と経営計画 経営戦略 経営戦略が指すもの					
4	2.美容業の経営について 業界の概要 競争の変化 サービスとしての美容					
5	美容業の顧客について 3.資金の管理 資金管理の重要性 収支と損益					
6	会計の考え方 コストを管理する 税金について					
7	4.人という資源とは ヒトの能力を高める ヒトをやる気にさせるために					
8	給与 待遇・福利厚生 労働者の権利					
9	5.健康・安全な職場環境の実現 健康管理の基礎 美容の仕事と健康 美容業の特徴的な健康課題					
10	美容の作業環境に関する健康問題 6.従業員としての視点から 社会人としての責任・従業員としての責任					
11.12	社会保険(国民年金、厚生年金、健康保険、国民健康保険)					
13.14	社会保険(介護保険、雇用保険、労働者災害補償保険)					
15	7.サービス・デザイン 顧客が求める価値 価値の実態 顧客満足のためのシステム					
16	最も重要な価値:人 価値の多様性 顧客が求めるもの サービスの範囲					
17.18	8.マーケティング 美容業のマーケティング マーケティングミックス 短期的・長期的な要因					
19.2	マーケティングミックス 短期的・長期的な要因 サービスのシステム化					
21	9.サービスにおける人の役割 接客についての理解 よい接客のために					
22	接客の実践① ②					
23	接客の実践③ ④					
24	接客の実践⑤ ⑥					
25	接客におけるトラブル対応 接客で発生が予想される問題					
26	問題を深刻化させないための対策・対処					
27~36	総復習					

実務経験のある教員による授業科目の授業計画書(シラバス)

課目名	選択科目 メイク 2年			必修・選択必修・自由選択	必修	
授業実施時期		1学期	2学期	3学期	授業時間数	93時間
	1年	—	—	—	授業単位	3単位
	2年	○	○	—	法律により決められた時間・単位	90時間(3)
担当教員名	古関恵子 岡崎芳江 若狭純子			授業方法	講義 実習	
担当資格	実務経験・日本理容美容教育センター美容理論・実習研修修了者					
到達目標	サロンメイク技術の修得、日本ヘア・メイクアップアーティスト協会 メイクアップ(ベーシック)検定 合格 UTOWAビューティースタ일리スタアカデミーメイクアップ技術応用コース 取得					
授業科目概要	・スキンケア ・サロンメイク ・特殊メイク					
成績評価方法		1学期	2学期	3学期	合格基準	
	1年				100点満点だが60点以上で単位を修得する。	
	2年		筆記検定試験 実技検定試験			
時間	授業内容					
1～3	オリエンテーション 自己紹介 アンケート					
4～6	スキンケア 2019春夏シーズン情報					
7～9	顔のブロッキング 陰影					
10～12	ウトワ 2019春夏メイク					
15～21	ステージメイク1 クラシックバレー					
22～24	ステージメイク2 宝塚					
25～27	キヤッツ					
28～33	特殊メイク 傷・やけど・銃根 リストカット					
34～36	老人メイク					
37～42	アーティフィシャルメイク					
43～45	一日体験入学準備 フェイスマスク使用					
46～51	イメージ編 キュート・クール					
52～54	現役ヘアメイクさんによる展示授業					
55～57	イメージ編 カジュアル・エレガント 印象の演出 形、色、質感					
58～60	イメージ編 ゴージャス・クール					
61～63	イメージ編 セクシー・グラマラス					
64～66	ウトワ秋冬メイク					
67～69	ハロウィンメイク 男装メイク					
70～72	コピーメイク ものまねメイク 撮影					
73～84	認定試験に向けて練習					
85～87	ヘアメイクアップアーティスト認定試験					
88～90	ウトワ認定試験に向けて練習					
91～93	UTOWAビューティースタ일리スタアカデミーメイクアップ技術応用コース受験					

実務経験のある教員による授業科目の授業計画書(シラバス)

課目名	着付			必修・選択必修・自由選択	自由選択
	1学期	2学期	3学期	授業時間数	93時間
授業実施時期	1年			授業単位	3単位
	2年	○	○	法律により決められた時間・単位	90時間(3)
担当教員	飯田佐奈江 向井光子			授業方法	講義 実習
	実務経験・日本理容美容教育センター美容理論・実習研修修了者				
到達目標	着物の知識、小紋の自装ができるようにする。				
授業科目概要	補整の作成 小紋・留袖・振袖・紋服・卒業式の装い				
成績評価方法	1学期	2学期	3学期	合格基準	
	1年			合格基準に達しているかを見る	
	2年	小紋の着付	中振袖の着付		
時間	授業内容				
1～3	オリエンテーション 半襟付け				
4～6	補整パット作成 体型補正について				
7～9	体型補整 小紋の着付 着物の名称				
10～21	相モデル 小紋の着付 練習 着物・帯の種類説明				
22～27	相モデル 小紋の着付 二重太鼓				
28～36	ボディー 試験練習				
37～39	ボディー 小紋の試験				
40～42	補整ベスト作成				
43～48	小紋の自装				
49～51	浴衣の自装と帯結び披露				
52～57	留袖着付				
58～60	中振袖の着付 1年次復習				
60～75	中振袖の着付 お太鼓 文庫 立矢				
76～78	中振袖の着付 試験				
79～84	中振袖の着付 ヘアセットして撮影				
84～89	男子礼装 女子袴着付				
90～93	小紋自装 七歳祝着展示説明				

実務経験のある教員による授業科目の授業計画書(シラバス)

課目名	エステティック				必修・選択必修・自由選択	自由選択
		1学期	2学期	3学期	授業時間数	93時間
授業実施時期	1年				授業単位	3単位
	2年	○	○		法律により決められた時間・単位	
担当教員	岡崎 芳江				授業方法	講義
	実務経験・日本理容美容教育センター美容理論・実習研修了者					
到達目標	基礎的技術の習得					
授業科目概要	1. フェイシャルエステティック、 2. ボディエステティック、 3. ワックス脱毛					
成績評価方法		1学期	2学期	3学期	合格基準	
	1年				合格基準に達しているかを見る	
	2年		フェイシャルケアチェック			
時間	授業内容					
1～3	自己紹介、教材配布、授業に関する注意・説明					
4～6	セルフスキンケア、機器の取り扱い説名					
7～12	ノーマルスキンケア 1 手技(相モデル)・・・ 準備、クレンジング、洗顔、キッシング、スチームタオル					
13～18	ノーマルスキンケア 2 復習 + デコルテブラシピーリング					
19～24	ノーマルスキンケア 3 復習 + アイオニック、整肌、クリーム塗布					
25～30	ノーマルスキンケア 4 復習 + デコルテ・フェイシャルマッサージ					
31～36	ノーマルスキンケア 5 復習 + パター					
37～45	ボディケア 1 …フットケア (背面・前面) …					
46～51	ワックス脱毛 1 下肢 (背面・前面) (相モデル交替)					
52～57	トラブルスキンケア 1 + フェイシャルパック … 色素沈着 (シミ、そばかす)					
58～63	トラブルスキンケア 2 … 老化 (しわ、たるみ)					
64～69	トラブルスキンケア 3 … 尋常性挫創 (ニキビ)					
70～72	トラブルスキンケア 4 チェック説明・準備、カウンセリング					
73～87	トラブルスキンケア 4' チェック練習					
88～93	フェイシャルエステ チェック スキンチェック～仕上げまで (モデルの肌質にあったスキンケア)					

